

令和元年度事業報告

1. 概要

令和元年度の我が国の経済をみると、12月末に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛の要請や事業活動を縮小せざるを得ない事業所も多々あり、倒産する企業も増えています。

当センターにおいても、学校や公共施設の休業・休館措置などに伴う就業停止の影響もありましたが、契約金額においては前年度比1.6%増の2億4千690万円の実績となりました。これは、当センターに依頼される発注者の期待に応える会員の皆様の働きの結果であります。

その一方で、令和元年度も会員拡大を第一の重要課題と位置づけ、中期計画に基づく事業推進に取り組んできましたが、会員数については、会員の高齢化も影響し、入会者数より退会者数が増え、前年度より9名の減少となりました。

会員の退会理由については、加齢や病気ならびに家族の介護などが多く、就業機会がないという理由での退会者は、以前より減少しています。設立30周年を目前に控え、今後のセンターの事業継続に向けて、より一層の会員の確保、増員が必須と考えます。

また、安全就業については「事故ゼロ」を目指し、安全意識の高揚に向けた各種取り組みを進めてきましたが、いまだ事故件数及び賠償金額の大幅な減少には繋がらず、より一層の安全対策や会員の意識改革に力を注ぐ必要があると考えます。

このようななか、高齢社会の担い手として、地域社会の活性化および共生社会の実現に寄与するシルバー人材センターのさらなる発展と拡充を目指し、積極的な事業運営を推進していくことが必要不可欠と考えます。

以下、令和元年度の会員数、受注件数、就業状況等について、実施概要を報告いたします。

(1) 会員数について

(単位：人)

	男性	女性	合計
平成30年度末会員数	384	192	576
令和元年度末会員数	384	183	567
前年度 増減	0	-9	-9
前年度比 (%)	100.0	95.3	98.4
新規入会会員数	28	14	42
退会会員数	28	23	51

(2) 受注件数について (請負)

(単位：件)

年度別	公共	民間	合計
平成30年度	181	2,808	2,989
令和元年度	183	2,742	2,925
前年度 増減	2	-66	-64
前年度比 (%)	101.1	97.6	97.9

(3) 就業状況について (請負)

(単位：人)

年度別	就業実人員	就業延人員
平成30年度	532	48,419
令和元年度	514	48,484
前年度 増減	-18	65
前年度比 (%)	96.6	100.1

(4) 事業実績について

(契約金額)

(単位：円)

年度別	請負	派遣	合計
平成30年度	208,417,289	34,535,141	242,952,430
令和元年度	212,417,168	34,486,132	246,903,300
前年度 増減	3,999,879	-49,009	3,950,870
前年度比 (%)	101.9	99.9	101.6

2. 事業活動内容

(1) 会員拡大の推進

- ① 入会促進用ポスターの作成と市内広報掲示板への掲示 (年12回)
- ② 市広報誌「ほっと京たなべ」への会員募集広告の掲載 (年11回)
- ③ 会員の「口コミ」による新入会員の獲得 (9名) 及び奨励金の交付 (申請：8名)
- ④ 新入会員勧誘者 (3名以上勧誘) の総会での表彰 (2名)
- ⑤ 会員募集チラシの作成と新聞折込等による配布の実施 (年2回)
- ⑥ 会員宅 (役員、地区委員長及び班長) での会員募集ポスターの掲示
- ⑦ 入会説明会における理事及び監事、地区委員長、職域班長の輪番出席による積極的な入会促進活動の実施
- ⑧ 山城地域拠点シルバー人材センターによる合同入会説明会及び講演会の実施
- ⑨ 山城地域拠点シルバー人材センター合同での啓発イベントでの会員募集チラシ及びティッシュの配布
- ⑩ 「産業祭」におけるチラシ配布等、会員拡大に向けたPR
- ⑪ 会報及びホームページ等での会員募集PRの実施

(2) 就業機会の拡大

- ① 会員の「ロコミ」による仕事の獲得（20件）
- ② 新規受注獲得会員（5件以上獲得）に対する総会での表彰（3名）
- ③ 会員宅（役員、地区委員長及び班長）での仕事募集ポスターの掲示
- ④ 各種事業、イベント等実施時における就業機会拡大に向けたPR
- ⑤ 京田辺市介護予防・日常生活支援事業（訪問型サービスA）を開始した。（発注件数 21件、延べ人員 495人、実績金額 743,341円）

(3) 労働者派遣事業の推進

- ① 派遣での就業会員に対する教育訓練（接遇講習会）の実施

（労働者派遣事業実績）

	受注件数 (件)	就業実人員 (人)	就業延人員 (人日)	派遣事務手数料 (円)
平成30年度	31	99	6,382	4,587,363
令和元年度	27	80	6,123	4,461,412
前年度 増減	-4	-19	-259	-125,951

(4) 財政運営の健全化対策

- ① 国、府、市に対する、センターの健全な財政運営を堅持するための財源確保の要請活動の実施
- ② 中期計画に基づく事業の推進

(5) 安全就業対策の取り組み強化

- ① 安全大会の実施（マナー講師による講演及び安全標語優秀作品の表彰）
- ② 安全大会における会員の安全標語の掲示
- ③ 安全パトロール（就業現場：5箇所）の実施と就業会員への安全就業の啓発
- ④ 会報等を通じた健康管理に対する注意喚起及び事故発生状況の報告
- ⑤ 全会員に対する熱中症対策備品（クールタオル）の配布及び夏季期間における経口補水液等の事務所での提供
- ⑥ 草刈り替刃や防護ネット等、事故防止策としての備品の検討及び購入
- ⑦ 安全標語の募集と標語入りカレンダーの作成及び配布
- ⑧ 全国安全就業月間における安全就業のぼりの掲出及び会報での啓発

(6) 適正就業及び未就業対策の推進

- ① 職域班組織を通じての未就業者対策及び分かち合い就業（ワークシェアリング）の推進
- ② 未就業会員に対する積極的な就業機会の提供の実施

(7) 普及啓発活動の推進

- ① 山城地域拠点シルバー人材センター合同での啓発イベントの実施

- ② 会員による「シルバーの日」の清掃ボランティア及び啓発物品の配布（79名参加）
- ③ 市文化祭での会員の作品展示や地域の住民センター主催のイベント及び「産業祭」への出店とセンターのPR
- ④ 広報誌「シルバー京田辺」（年2回）及び「シルバー会報」（年10回）におけるセンター情報の周知とPR
- ⑤ 市内の関係機関（11箇所）へのチラシの設置
- ⑥ オレンジルームにおける講座や催しの実施
- ⑦ シルバーサロン「きてきて」の開催（年3回）とセンターのPR
- ⑧ ホームページやfacebookを通じてのセンター事業等の発信

(8) 組織体制の充実強化と自主的活動の推進

- ① 理事会の開催（年7回）と役員懇談会（年5回）の実施
- ② 事業計画に基づく各専門部会等での取り組みの推進（総務部会・広報部会・業務部会・福祉部会・安全部会・啓発イベント実行委員会）
- ③ 「ポイント制度」導入による会員の事業参画意識の向上の推進（10ポイント達成：18名、20ポイント達成：1名）
- ④ 地域懇談会（地域別3箇所）での意見交換の実施による会員間の連帯意識の向上を図る
- ⑤ 各職域班会議の実施による会員間の情報共有と連携の強化
- ⑥ 女性の集い（年11回）の実施
- ⑦ 会員親睦旅行の実施
- ⑧ 会員親睦会（2回の実施）
- ⑨ 京都府警との連携により「こども110番のいえ」への協力を実施（16名）

(9) 技能講習会の実施

- ・植木剪定講習会 年 1 回 （35名参加）
- ・そば打ち体験会 年 1 回 （26名参加）
- ・普通救命講習会 年 1 回 （13名参加）

(10) 有料職業紹介事業の推進

求人申込数(件)	就職件数(件)	紹介手数料(円)
1	1	30,470

(11) 事故報告

◎賠償事故発生件数

	発生件数 (件)	保険対応件数 (件)	保険対応金額 (円)
平成30年度	11	5	764,586
令和元年度	10	5	864,488
前年度 増減	-1	0	99,902

◎傷害事故発生件数

	発生件数 (件)	保険対応件数 (件)	保険対応金額 (円) (※)	
			通院・入院等	後遺障害
平成30年度	12	9	313,000	0
令和元年度	6	5	335,000	0
前年度 増減	-6	-4	22,000	0

※保険対応金額については支払われた年度で計上